

【二月の言葉（令和七年）】

偶然の出会いに感謝を

へたまたま行信ぎょうしんを獲えば、遠く宿縁しゆくえんを慶よろこべ（教行信証きょうぎょうしんしんじょう）

普段いかない場所で偶然出会った人と意気投合したり、書店で偶然手に取った本の中に悩みを解決するヒントが見つかったり……。私たちの人生の中には素晴らしい出会いがあふれています。しかし、仏教ではそれらもすべて偶然ではなく、因縁によるものとされています。輪廻転生をくり返す中で、過去の様々な行いが「因」となり、今の結果が表れているのです。

ですから「思いがけない真の教えに出遇うことができたならば、遠い過去からの縁を喜びなさい」というこの言葉のように、物事や人との出会いには感謝の気持ちをお忘れないようにしましょう。

たとえ自分の意志とは異なる結果であっても、それは深い縁で与えられたもの。いつかきつと、その意味を感じられるはずです。